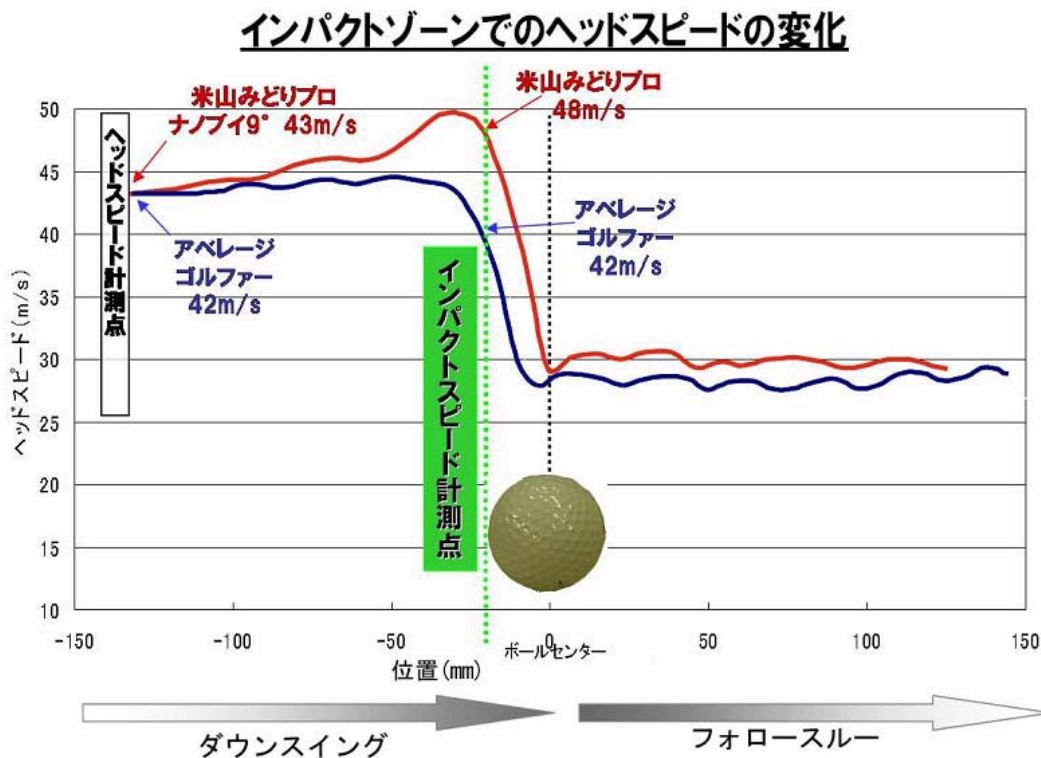


## 新提案、「インパクトスピード理論」で飛ばす。

男性アベレージゴルファーの平均的なヘッドスピードは、女子プロゴルファーとほぼ同じ。にもかかわらず、女子プロゴルファーがより遠くへ飛ばすことができるのは何故でしょうか。その秘密はインパクトの瞬間スピードにありました。ハイスピードカメラで解析した結果、女子プロゴルファーは男性アベレージゴルファーと比べると、インパクト瞬間のヘッドスピードが約5m/s アップしていることが分かりました。

ヘッドスピードが同じでもインパクトスピードを高めればさらに飛ぶ、という「インパクトスピード理論」。ニューナノブイはこれに基づいて、シャフトとヘッドに新たな機能を搭載しました。



|      |        |         |        |      |
|------|--------|---------|--------|------|
| 男子アマ | 42 m/s | ヘッドスピード | 43 m/s | 女子プロ |
|      | 42 m/s | インパクト瞬間 | 48 m/s |      |
|      | 27 m/s | インパクト後  | 30 m/s |      |
|      | 58 m/s | ボール初速   | 63 m/s |      |

## インパクトの瞬間にかけて加速する「ナノハイスピードシャフト」

キックポイントに強度がありながらしなりやすいナノスケールチタン合金「ゴムメタル®」を引き続き採用したのに加え、従来はしなりの少ないシャフト先端部に「新型カーボンナノチューブ」を複合しました。

この新型カーボンナノチューブは、従来のナノブイに採用していたナノカーボン素材の「フラーレン」と比べてよりしなりやすい性質を持ち、強度アップを図りながらインパクト時に大きなエネルギーをため、ボールの弾きへと変換します。

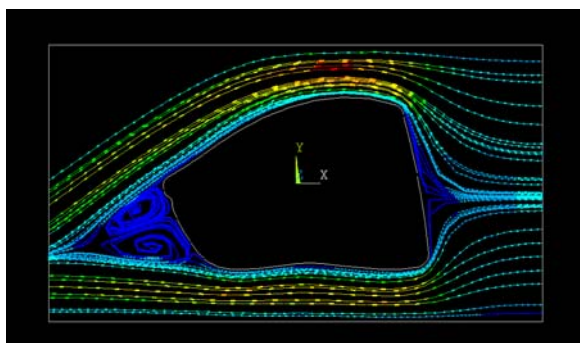
ナノハイスピードシャフトは、これら2つのナノ素材の相乗効果により、インパクトの直前から直後にかけてスピードが加速するので、ヘッドスピードだけでなくインパクトスピードをアップさせることができるのです。

## 新形状「エアロシェイプ」+新素材採用の大型ヘッド

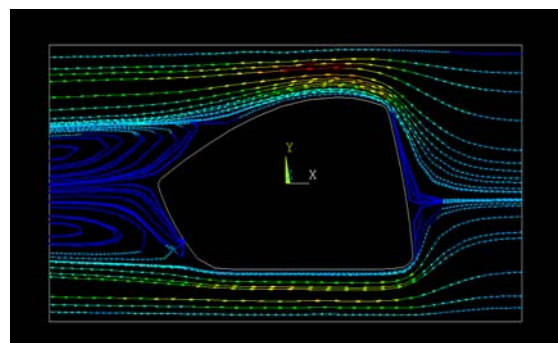
### 空気の流れをスムーズにする「エアロシェイプヘッド」

打ちやすさと方向性を追求した大型ヘッドですが、空気抵抗が大きく軌道が安定しないというデメリットもあります。「エアロシェイプヘッド」は、見た目の安心感や構えやすさはそのままに、空気抵抗を減らすように設計した新形状。空気の流れがスムーズになり、インパクトスピードを高めるとともに、ヘッド軌道が安定して方向性も向上します。

#### <エアロシェイプヘッドの流体解析データ> ※当社流体解析試験データに基づく



エアロシェイプヘッド



ノーマルヘッド

ノーマルヘッドではクラウン部ですでに空気の「はく離」が生じていますが、エアロシェイプヘッドはクラウン部での空気のはく離がなく、空気の流れが乱れることでできる「渦」も小さくなっています（空気の流れがスムーズな状態では渦はできない）。

## 新素材採用のカーボン複合構造で高弾道・低スピンを実現

フェース素材には、高強度・高弾性の新しいチタン素材「SP-700HM」を採用。これによって、反発係数0.81（230 $\mu$ s前後 ※R&A申請中）を保ちながら、フェース厚は従来の3.15mmから2.95mmまで薄くすることが可能になり、フェース部分の重量を4g軽くすることができました。

また、クラウン部は「ゴムメタル®」と「新型カーボンナノチューブ」を搭載した新しいカーボン複合構造としました。新たなナノ素材の採用で強度アップが図れたことで、0.9mm厚までが可能になり、現状最も薄いとされる0.4mm厚のチタンクラウンと比べても10%の軽量化となりました。これにより、さらに効率のよい重量配

分によって大型ながら低・深重心のヘッドとなり、飛びの高弾道・低スピスが得られます。

